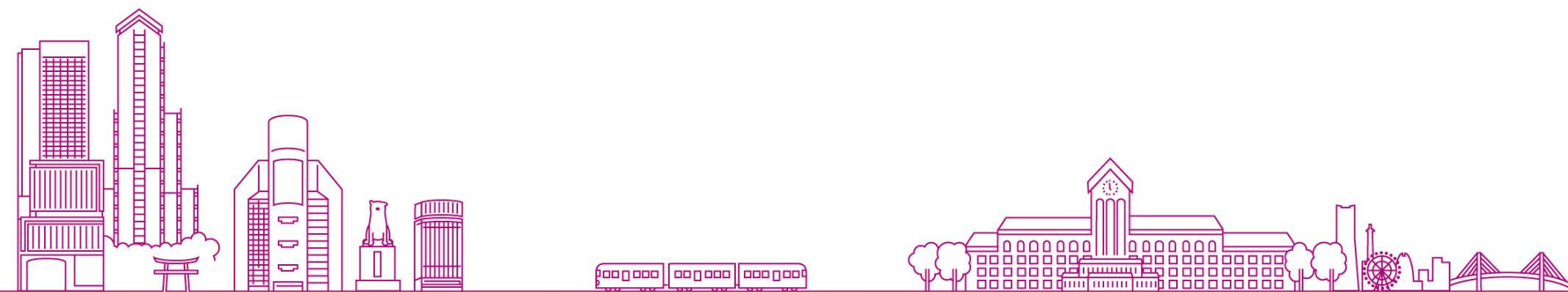


III. 時間割の作成



(1) 卒業に必要な科目を知る

共通教育プログラム (36単位以上)

科目の種類	科目 (または科目区分)	単位数
必修	英語Ⅰ～Ⅵ	12単位
選択必修	専門教養科目群 フレックスA(夜)：パッケージなし フレックスB(昼)：パッケージあり	6単位以上
	数的推論 コンピュータと情報	2単位以上
選択	共通教育プログラム科目から自由に選択	16単位以上

(1) 卒業に必要な科目を知る

専門教育科目（64単位以上）

履修要綱の

P80～84について熟読してください。

神職資格希望者は、

P146～149をあわせて確認してください。

(2) 進級条件

全学年共通

各年次に1学期以上在学すること

2年生→3年生 への進級条件 (神道文化学部)

- ①2年次終了までに3学期以上在学
- ②卒業に要する単位で下記の条件を満たすこと
共通教育プログラムの汎用的スキル科目群で必修の英語2科目4単位、専門基礎科目の「神道文化基礎演習」1科目2単位を含む34単位以上を修得すること。

(3) 前期の時間割を考える

神道文化学部の前記指定登録科目（合計14単位）

→K-SMAPYⅡ「学生時間割表」で各自曜日・時限を確認すること

※同じ学科の同じ科目でも曜日・時限が異なることがあります

- ・「英語Ⅰ」 (共通 必修)
- ・「英語Ⅲ」 (共通 必修)
- ・「神道概論Ⅰ」 (専門 必修)
- ・「神道史学ⅠA」 (専門 必修)
- ・「古典講読ⅠA」 (専門 必修)
- ・「宗教学Ⅰ」 (専門 必修)
- ・「神道文化基礎演習」 (専門 必修)

(3) 前期の時間割を考える

1年生が前期に登録できる単位の上限は23単位

※後期に登録できる単位数は、42単位から前期登録単位数を引いた数
例) 前期に20単位登録した場合は、後期に22単位分登録可能

※2年生からは前期の単位制限がないため、前期に登録しすぎないように
注意! (前期に42単位登録、後期の登録が0単位という事例も…)

神道文化学部的前期指定登録科目 = 14単位

👉自分で前期に登録できる単位数は
 $23 - 14 =$ 最大 9単位まで!

(3) 前期の時間割を考える

～自分で登録可能な **9** 単位分の選び方～

【履修要綱でチェック】

- ・必修>選択必修>選択
- ・開講学年

【WEB時間割(大学HP)でチェック】

- ・開講曜日、時限
- ・履修制限(学科指定、学年指定など)

【シラバス(K-SMAPY II)でチェック】

- ・授業内容、評価方法
- ・履修制限(学科指定、学年指定など)など

(3) 前期の時間割を考える

～自分で登録可能な 9 単位分の選び方～

これまでの説明を踏まえると、下記のような科目がおすすめ

- ・専門教養科目 (共通 選択必修)
→フレックスA・Bで履修方法が異なります。履修要綱P26～30を要確認。
- ・「数的推論」 or 「コンピュータと情報」 (共通 選択必修)
- ・「世界宗教文化論Ⅰ」 (専門 基幹講義科目)
- ・「日本宗教文化論Ⅰ」 (専門 基幹講義科目)
- ・「神社祭式概論Ⅰ」 (専門 展開科目)

(4) 教職・資格課程科目

教職課程を希望する学生（履修要綱P.106～）

☞教職ガイダンスを受講の上、必要な科目を時間割に組み込んでください。

資格課程を希望する学生（履修要綱P.141～）

博物館学課程 / 図書館司書課程

学校図書館司書教諭課程 / 神職課程

明階総合課程（神道文化学部のみ選択可）

保育士課程（子ども支援学科のみ選択可）